



市長へ令和3年度会派予算要望

# やすひこ通信

## 厳しい中でも前進！

2021. 冬号 (No.70)  
 発行元: 松山市議会議員  
 大亀 泰彦  
 松山市星岡1-23-20-202  
 (089)-956-7647 (FAX兼)  
 kg@gamedai.com

令和三年の正月は、コロナ禍の中、恒例の年末年始のイベントもほとんどが中止か感染症対策を施した縮小形式となり、いつもとは異なる雰囲気のはじめとなりました。社会経済活動が大きく制限される中、「明けない夜はない」必ず日常は戻ってくることを信じて、限られた活動範囲内で、今年一年、公私に、より真摯にきめ細かく、努力をして行くことと心新たに決意しました。

**市長予算要望**、我々議員の役目は大きく二つ、市長の市政運営のチェックと、市民の声を市長に届け施策に反映して頂くこと。議会では、同じ考え方や政策の議員がグループとなり（議会では3人以上で会派を結成でき、本市では5つの会派がある）会派単位で議会の運営がなされており、個人だけでは活動が制限されている。私は、フロンティアまつやまという会派（5名）に所属しており、その会派活動の一つが、市長への予算要望です。令和二年度は、コロナ対策で子育て支援や地域経済対策に関して4月と8月、2回要望活動を行った。更に、11月に、三年度予算に関して市民ニーズや重要課題を取りまとめ、会派要望書として直接、市長に提出した。コロナ対策を最優先としながらも、市長公約や市の様々な分野の計画にある事業の履行による市政前進を求め、市長は「厳しい中でもやるべきことはやる」と応じて頂いた。

### 12月議会トピックス

道後温泉本館保存修理工事の進捗状況について、営業しながらの保存修理工事は、又新殿・霊の湯棟と南棟の屋根の葺き替え作業を終え、年明けから玄関棟付近で素屋根を移設する工事を開始する見込みで、進捗率は4割、残り工期は4年程度▼国のギガスクール構想を推進する為、今年度末に小・中学児童・生徒に1人1台コンピュータ端末を配備する。又、4校当たり1名、計20人の情報化支援員を配置し体制を整備する▼過疎地域のバス路線のうち、立岩、五明、河中、丹波の4路線を廃止し、タクシー会社等の地元交通業者や地域住民組織が代替交通を担えるか、市と事業者そして地域住民の三者での協議が進んでいる▼松山市駅前の道路空間改変事業に関して、今秋の社会実験の実施に向けた準備が進んでいる（次頁で詳細）▼地方球場として最多の3回目となるプロ野球オールスターゲームが来年夏に坊っちゃん球場で開催され、球場開設20年経過し老朽化対応やバックスクリーンの大型ビジョンの設置等、大改修も予定されている▼学校トイレの洋式化について現在は56%（中核市60市中25番目）だが、今後計画的に改修を進め、令和17年度には概ね90%を予定。又、コロナ対策として床面の乾式化や自動水栓も進める。

### 新型コロナウイルス 感染症対策

松山市は、これまで5回の補正予算を組み、総額は約六二七億八千万円となった。一人10万円の特別給付金の円滑で迅速な給付や給付対象外だった新生児への給付、国に先駆けてひとり親家庭への追加給付、地元企業向けの無利子の融資や商店街への大型の消費喚起策、国や県の支援の網の目から漏れる個人事業主や学生への支援について市独自のメニューを設ける等、幅広く目配せをしながら懸命の対応に努めている。しかし、感染症は収束の兆しは見えず、先行きは不透明な中、今後、国の大型の第三次補正も予定されている。有効活用しつつ、市の基金も使い、感染対策と地域経済対策を重層的に取り組んで行く考えだ。我々も活動が制限される中、アンテナの精度を高め、こまめに行政に市民の声を届けて行きたい。

#### ＜新型コロナウイルス感染防止のためのお願い＞

感染が拡大している地域へのお出掛けや、市外から本市に来られた皆さんもご注意ください

- ① うつらないよう自己防衛!
- ② うつさないよう周りに配慮!
- ③ 習慣化しよう3密回避!



24時間対応 新型コロナウイルス相談窓口  
 089-909-3468

# 市駅前広場、今秋社会実験へ!

野志市政の主要公約であり、「歩いて暮らせるまち」、「コンパクトシティ」を目指す松山市の中心部のまちづくりのシンボリック空間として位置づけられている松山市駅前広場の道路空間改変事業の構想案は2018年9月に公表された。1日3万人以上が往来する市内最大の結節点を、車道をなくし、郊外・路面電車及びバスの乗降所を近接化する（シームレス）こと、又、歩行空間を広げ、イベント広場やカフェエリアを設けることで、歩行者に優しく、にぎわい空間を創出する。更に、近隣の堀之内、綺麗になった花園町、若者のまち銀天街や大街道との回遊導線整備にも大きく寄与するものと期待が持たれている。



市駅前広場は、現状、電車・バス・タクシーの公共交通の他、1日約440台の一般車両が行き交う交通の要衝である。構想案の肝は、広場内に一般車両の乗り入れを禁止することであり、それにより周辺道路の交通渋滞の悪化が予想される。その対策として、市当局は市駅前広場内へのバスの進入路の変更（千舟町通りから中ノ川通りへ）や信号規制（末広町交差点の右折信号）を考えているが、その対応で十分か？（パターン1：市駅前広場内へのバス以外の車両の進入規制により、交通影響の検証）、又、新たな広場空間での賑わい創出（イベントやマーケットの開催）（パターン2：市駅前広場の東半分をバスの乗降場専用とし、西側広場を歩行者空間を活用し、賑わい創出の検証）の為の2つの社会実験を、今年11月に2週間の予定で実施する。



【資料は松山市ホームページを引用】



ウイズコロナ時代、対人接触が制限される中、新たなコミュニケーションツールとしてツイッターを活用してます。ごく短いセンテンスで、旬の話題やニュースをつぶやき（発信）ます。更に、ホームページやフェイスブックにも繋がりますので、詳しい解説文や活動報告はこちらの方で随時アップしていますので、チェックして下さい。

主に以下のテーマでつぶやきます！

- #松山市政 松山市の旬の話題やお役立ち情報を届けます
- #松山市議会 議会がより身近に感じます
- #松山市駅 市駅前広場の整備の進捗がわかります

## #交通

まちづくり 乗って安心公共交通、歩いて健康になります

## #家庭菜園

試行錯誤、無農薬栽培にはまっています

## #愛媛マラソン

25回ランナーとして参加しています



スマートフォンでQRコードを読みめば繋がります



